

健康への仕組みづくりは

健康増進計画を策定する

櫻井立志 議員(公明党)

健康を支える社会的な仕組みづくりについて、市は、先進事例を研究していきたい。

保健福祉部長 健康を社会全体で進めることは大変重要と認識している。来年度から取り組む健康増進計画策定を通して推進していきたい。

ランテアとの関係から、慎重に研究すべき課題である。

保健福祉部長 平成23年度までに近隣市において、設置が予定されている。当面は在宅サービス



介護予防で行われているピンピン教室

⑦携帯電話リサイクル推進に向け、公共施設に回収ボックスの設置を。経済環境部長 回収後の適正なリサイクルの確保が困難であり、早急の設置は考えていない。今後、先進地の事例等を注視していきたい。

虚空蔵谷 お堂や滝の保存を

観光地として重要対処

水野恭子 議員(共産党)

地域の方が大勢来られ、大変貴重な伝統を持つものであり、その奥にある虚空蔵谷川の二つの滝は京田辺市の唯一現存する貴重な滝であり、貴重な植物も残されている。観光地としてまた自然をまもることが大事であるが、ここへの通路の路肩がくずれたり、木が倒れていたり大変危険な状況である。現在、地元の方がお世話されているが、高齢であり、このままでは通路は破壊されかねない。観光地として、市が守るべきと考えるが、市の考えは、

①虚空蔵堂や虚空蔵谷川の滝などの保存、そして歩道整備を。大住地域の虚空蔵堂は、4月13日に、十三まいり



景観の保存が望まれる虚空蔵谷川の滝

地域に保育所建設を。北部地域の住宅開発に伴い、若い世代が増え、また近年の経済不況で共働き家庭が増えている。そのような中で、京田辺市では、現在1歳児については、どの保育園にも入れない。特に3歳児未満の児童について、待機児童数が多い。待機児童の解消は、経済の発展や子育ての問題でも大変重要であり、年度途中からでも受け入れる緊急措置が求められる。プレハブ建設による緊急保育施設や認可外保育利用者への保育料負担軽減、一時保育所を増やすなどの施策が必要だ。来年度4月において、保育希望者の全員受け入れ、待機児童は出さない決意と早急に北部地域に保育所増設を。保健福祉部長 待機児童を出さないよう努力したい。北部については、現在、用地確保等について詰めの協議を行っている。できるだけ早い時期に具体的な計画を示していくよう努力したい。

近鉄新田辺駅 地域の防犯対策は

パトロールの強化を依頼

小林喜代司 議員(新栄会)

近鉄新田辺駅西口一帯の騒音や犯罪に対する不安の声は聞いている。市では田辺警察署にパトロールの強化を依頼し、現在田辺駅前交番と連携した夜間の対策を講じている。



近鉄新田辺駅西口付近

②改正消防法に基づき、2011年5月末までに住宅用火災警報器の設置が義務づけられた。現在の設置状況と特に災害弱者である高齢者、障がい者世帯への対策は、消防長 住宅用火災警報器の設置状況については平成22年度に、区、自治会の協力を要請して全世帯を対象にアンケートによる設置調査を行う。その時に防火診断チェック表を配布して各家庭において診断を行っていたら、啓発に努めたい。

学校給食 民間委託で何が良くなる

人件費の削減等財政効果

米澤修司 議員(民主党)

①来年度は、大住小、三山木小、23年度は桃園小、田辺東小、24年度は草内小、松井ヶ丘小と3年間で計6校の学校給食調理業務を民間委託する計画となっているが、何が良くなるのか。平成8年の行革大綱の課題となっていたが、なぜ今まで放置されてきたのか。民間委託を進めている自治体では、実施にあたっては

削減された財源で、各校に栄養士を配置することや、給食室のドライ運用品の更新、食器の改善などに活用できる。平成8年に第二次行革大綱が策定され、民間委託の検討が提示されたが、当時は財政的には緊迫した状況ではなかった。平成20年度に民間委託の基



児童たちで給食を配膳する様子

③公立幼稚園の園児数は年々減っている。今後具体的な対応策は、